

大崎市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定のための子育て調査結果概要

1、目的

この調査は、第三次大崎市社会福祉協議会が予定している地域福祉市民活動計画を策定するに当たり、市内の子育て中の保護者を対象として地域福祉活動を推進するための課題を明らかにすることを目的とする。

2、調査実施主体

社会福祉法人 大崎市社会福祉協議会

3、調査対象

大崎市における保育施設に子どもを通園させている保護者 1718 人

4、調査期間

令和元年3月～6月

5、調査方法

質問紙による配票留め置き法

6、集計分析

集計分析は、統計処理を行うものとし、東北福祉大学都築研究室に委託する。

7、調査項目

基本属性(子どもの性別、年齢、居住地域、回答者の続柄、家族人員)、子どもの交流、保護者の交流、子育て社会資源・サービスの利用状況、子育て支援活動参加状況、子育ての精神的負担、子育ての満足度、子育ての相談相手、子育て支援の展望

8、回収成績

保護者 1718 名中、696 名から有効回答を得た。

(回収率：40.5%)

(1)居住地域別の続柄

この調査項目は、回答者と調査対象の子どもとの続柄である。全ての地域において、「母親」が回答者である割合が最も高い。

問5居住地域 と 問3続き柄 のクロス表

問5居住地域		問3続き柄				合計
		母	父	祖母	祖父	
古川	度数	307	22	1	0	330
	問5居住地域の%	93.0%	6.7%	0.3%	0.0%	100.0%
松山	度数	31	2	0	0	33
	問5居住地域の%	93.9%	6.1%	0.0%	0.0%	100.0%
三本木	度数	52	4	0	0	56
	問5居住地域の%	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	100.0%
鹿島台	度数	105	2	0	0	107
	問5居住地域の%	98.1%	1.9%	0.0%	0.0%	100.0%
岩出山	度数	44	4	1	0	49
	問5居住地域の%	89.8%	8.2%	2.0%	0.0%	100.0%
鳴子	度数	23	2	0	0	25
	問5居住地域の%	92.0%	8.0%	0.0%	0.0%	100.0%
田尻	度数	82	7	0	1	90
	問5居住地域の%	91.1%	7.8%	0.0%	1.1%	100.0%
その他	度数	2	0	0	0	2
	問5居住地域の%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	度数	646	43	2	1	692
	問5居住地域の%	93.4%	6.2%	0.3%	0.1%	100.0%

(2)居住地域別回答者の年齢

回答者の年齢は、全ての地域で「30～39歳」の割合が高くなっているが、鳴子地域のみ25～29歳の割合が、他の6地域と比べて高くなっている。

問5居住地域と問3続き柄のクロス表

		問3続き柄				合計	
		母	父	祖母	祖父		
問5居住地域	古川	度数	307	22	1	0	330
		問5居住地域の%	93.0%	6.7%	0.3%	0.0%	100.0%
	松山	度数	31	2	0	0	33
		問5居住地域の%	93.9%	6.1%	0.0%	0.0%	100.0%
	三本木	度数	52	4	0	0	56
		問5居住地域の%	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	100.0%
	鹿島台	度数	105	2	0	0	107
		問5居住地域の%	98.1%	1.9%	0.0%	0.0%	100.0%
	岩出山	度数	44	4	1	0	49
		問5居住地域の%	89.8%	8.2%	2.0%	0.0%	100.0%
	鳴子	度数	23	2	0	0	25
		問5居住地域の%	92.0%	8.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	田尻	度数	82	7	0	1	90
		問5居住地域の%	91.1%	7.8%	0.0%	1.1%	100.0%
	その他	度数	2	0	0	0	2
		問5居住地域の%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計		度数	646	43	2	1	692
		問5居住地域の%	93.4%	6.2%	0.3%	0.1%	100.0%

(3)居住地域別の回答者職業

回答者職業は、鳴子を除いた地域で「会社員」が高い割合となっている。鳴子は「会社員」も高い割合を示しているものの、「自営業」や「公務員」、「その他」という割合が、他地域よりも高い割合を示している。

(4)居住地域別の同居家族人数

同居家族人数では、「古川・松山・岩出山・鳴子」は4人以下の割合が、「三本木・鹿島台・田尻」は4人以上の割合が大きい。ただ、「松山・鳴子」は2人という回答割合が他地域よりも高い。

(5)居住地域別の両親・祖父母との同居について

両親・祖父母との同居については、「古川・松山・鹿島台・岩出山・鳴子」は同居していない割合が高く、「三本木・田尻」が同居している割合が高い。

(6)居住地域別の他家族との交流について

この調査項目において、全ての地域が「他家族との交流」を肯定的に捉えている。しかし、「岩出山」では、「いいと思わない」「あまりいいと思わない」という回答割合が10%以上となっており、他地域より他家族との交流について否定的に捉えている人が多い。

(6)居住地域別の子育て支援事業の利用について

①古川

古川地区では「わくわくランド」の利用が、他地域に比べて最も高い割合を示している。古川地区は他の地区に比べて、利用率は高くはないものもあるが、社会資源が多いので、調査票に記載した8つの支援事業全て利用されている。ただ「わくわくランド」の利用率が高いにもかかわらず、併設されている「子育て支援センター」の利用率は他地域に比べて最も低い。また、「わくわくランド」には、「ファミリーサポートセンター」も併設されているが、その利用率も2.2%で、高い割合を示してはいない。

②松山

松山地区では、「育児サークル」の利用率が、他の地区に比べて最も高い。しかし、その他の支援事業において、「利用無し」100%を示す事業が、8事業のうち「家庭児童相談室」「自立支援相談」「ファミリーサポートセンター」「病後児保育」の4事業あり、半数の事業が利用されていない。他の地区でも、「利用無し」の回答が100%を示す事業もあったが、支援事業の半数が利用されていないのは松山地区のみであった。

③三本木

三本木地区では、「児童館」の利用率が、他地域に比べて最も高い。さらに三本木地の児童館利用頻度は、他地域と比べて、月2回や週1回の割合が高い。また、「利用無し」を示す事業は、「自立支援相談」「病後児保育」である。三本木地区では、利用無しを示す事業もあったものの、利用率は他地域と比べて高いものも多く、多くの事業が利用されている。

④鹿島台

鹿島台地区では、全ての子育て支援事業が「利用有り」の回答になっており、利用率も8つの地域で、中盤あたりの順位である。古川にも近く、社会資源が身近にあるということが、理由だと考えられる。

⑤岩出山

岩出山地区では、「家庭児童相談室」や「自立支援相談」、「ファミリーサポートセンター」の「利用有り」という回答が、鳴子に続いて高い割合を示している。その一方で、「子育て支援センター」の「利用有り」の回答は、10%台を示し、他地域に比べると利用されている割合が低い。

⑥鳴子

鳴子地区では、8つの地域の中で唯一「育児サークル」の「利用有り」が0%となっている。その一方で、「家庭児童相談室」や「自立支援相談」、「ファミリーサポートセンター」は、「利用有り」と回答した割合が高くなっている。

⑥田尻

田尻地区では、「子育て支援センター」の「利用有り」回答が40%近い割合となっており、利用頻度は、鹿島台について月2回以上の利用割合が高い割合を示している。

(7)居住地域別、子育て支援事業への参加理由

①古川

古川地区では、「無料だから」という理由が最も多かった。一方で、「家が近いから」の回答割合は、15%を切り、他地域と比べても低い割合を示している。

②松山地区

松山地区では、「息抜きになるから」という理由が40%となり、最も多かった。他地区と比べても40%の割合はとても高く、子育て支援事業を息抜きとして利用している保護者が多い。

③三本木

三本木地区では、「家が近いから」「子育ての情報収集ができるから」という理由がそれぞれ24%で、半数がこの理由で支援事業を利用している。

④鹿島台

鹿島台地区では、参加理由が10%以上を示すものが複数あり、他地区と比べても参加理由にばらつきがあること読み取れる。

⑤岩出山

岩出山地区では、「無料だから」「知人や友人が勧めてくれたから」「息抜きになるから」という回答理由が20%以上で、高い割合になっている。一方で「家が近いから」という理由の割合は、他地区が10%以上、あるいは30%を超えている地区もある中で、5.3%と低い割合を示している。

⑥鳴子

鳴子地区では、「子育ての情報が収集できるから」という理由が高い割合を示している。また「雰囲気が良い」という割合が、他地区では0%を示している地区があるものの、鳴子地区では11.1%と高い割合を占めている。

⑦田尻

田尻地区では、「事業の内容がいいから」「無料だから」という理由が、20%を超えて高い割合をしめしている。

(9)居住地域別、子育て支援事業に参加してみたの感想

子育て支援事業に参加してみたの感想は、7つの地区全てで、「いいと思う」「非常にいいと思う」という回答が、半数以上の割合を示しており、比較的肯定的な意見が多い。ただ「岩出山」は、唯一「非常にいいと思う」という回答が0%を示している。一方で、田尻は「非常にいいとおもう」と感じている人が30%近くを占めており、地区毎に多少の差が生じている。

①古川地区

古川地区では、子育て支援事業に参加してみて変化があったかという質問に対して、「全くそう思わない」「あまりそう思わない」という回答率が20%近く、あるいは30%近い回答率もあり、他地区よりも否定的な意見が多い。

②松山

松山地区では、「全くそう思わない」という回答率が全項目において0%で、「少しそう思う」「とてもそう思う」という肯定的な回答率の割合が否定的な回答率よりも高い。

③三本木

三本木地区では、「経済的負担が減少された」という回答の否定的な意見が0%となり、7つの地区の中でも0%の割合を示したのは、三本木のみであった。

④鹿島台地区

鹿島台地区では、全項目において肯定的な回答率が高い。ただ、「精神的負担の減少」に関しては、否定的な回答率が20%を超え、岩出山・古川に次いで高い割合を示している。

⑤岩出山地区

岩出山地区では、古川地区と同様、子育て支援事業に参加してみて変化があったかという質問に対して、「全くそう思わない」「あまりそう思わない」という回答率が全項目25%以上を示し、高い割合である。最も高いのは、「経済的負担」であり、40%超えという最も高い値を示している。

⑥鳴子地区

鳴子地区では、鳴子地区では「知り合いができた」という項目を除いて、「全くそう思わない」という回答は0%であるが、「あまりそう思わない」は4%程度の回答率になっている。

⑦田尻地区

田尻地区では、否定的な回答が全項目あるものの、10%程度の回答割合となっている。ただ「精神的負担の減少」に関しては、20%程度となり、岩出山・鹿島台に次いで高い割合となっている。

10子育てをしてみた感想

子育てをしてみた感想は、割合的に見ると子育てをすることに肯定的な感想を抱く人がどの地区でも多いが、子育てをすることに否定的な感想を抱いている保護者もいる。「田尻・古川地区」では、すべての項目において否定的な回答があり、また「松山地区」では、「家庭が明るい」という項目を除いて、子育てに関して否定的な回答率が5~10%という割合を示している。また「岩出山」は、子育てをすることに否定的な回答である「全くそう思わない」の回答が、0%である一方、「あまりそう思わない」という否定的な回答が5%以上を示している項目は複数ある。

(11)居住地域別、子育てへの関与度と関与できない理由

問5居住地域と問15子育てへの関与度のクロス表

問5居住地域			問15子育てへの関与度			合計
			思う	思わない	分からない	
古川	度数		162	123	38	323
	問5居住地域の%		50.2%	38.1%	11.8%	100.0%
松山	度数		18	8	7	33
	問5居住地域の%		54.5%	24.2%	21.2%	100.0%
三本木	度数		19	26	10	55
	問5居住地域の%		34.5%	47.3%	18.2%	100.0%
鹿島台	度数		38	53	13	104
	問5居住地域の%		36.5%	51.0%	12.5%	100.0%
岩出山	度数		26	17	5	48
	問5居住地域の%		54.2%	35.4%	10.4%	100.0%
鳴子	度数		8	12	4	24
	問5居住地域の%		33.3%	50.0%	16.7%	100.0%
田尻	度数		40	36	14	90
	問5居住地域の%		44.4%	40.0%	15.6%	100.0%
その他	度数		1	0	1	2
	問5居住地域の%		50.0%	0.0%	50.0%	100.0%
合計	度数		312	275	92	679
	問5居住地域の%		45.9%	40.5%	13.5%	100.0%

問5居住地域と問16関与できない理由のクロス表

問5居住地域			問16関与できない理由					合計
			家事を担い、 子育てを他の 家族に任せて いるため	忙しいため仕 事が	保育所に長い 時間預けてい るため	自身が病弱で あるため	その他	
古川	度数		8	107	39	1	10	165
	問5居住地域の%		4.8%	64.8%	23.6%	0.6%	6.1%	100.0%
松山	度数		1	11	4	0	2	18
	問5居住地域の%		5.6%	61.1%	22.2%	0.0%	11.1%	100.0%
三本木	度数		1	14	2	1	1	19
	問5居住地域の%		5.3%	73.7%	10.5%	5.3%	5.3%	100.0%
鹿島台	度数		1	20	11	2	4	38
	問5居住地域の%		2.6%	52.6%	28.9%	5.3%	10.5%	100.0%
岩出山	度数		3	16	6	0	1	26
	問5居住地域の%		11.5%	61.5%	23.1%	0.0%	3.8%	100.0%
鳴子	度数		2	5	0	0	2	9
	問5居住地域の%		22.2%	55.6%	0.0%	0.0%	22.2%	100.0%
田尻	度数		3	30	3	1	3	40
	問5居住地域の%		7.5%	75.0%	7.5%	2.5%	7.5%	100.0%
その他	度数		0	1	0	0	0	1
	問5居住地域の%		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	度数		19	204	65	5	23	316
	問5居住地域の%		6.0%	64.6%	20.6%	1.6%	7.3%	100.0%

(12)居住地域別の子育てに関する負担や疲労について

①古川地区

古川地区では、子育てをすることで何かしらの負担や疲労を感じている人が、調査項目でばらつきはあるものの、30~50%と全体的に高い割合を示している。

②松山地区

松山地区では、「子育ては身体的疲労」と感じている割合が79%と最も高い割合を示している。また「苛立ちや虐待傾向」について、「少しそう思う」と回答した人が21.8%と鳴子に次いで高い割合を示している。

③三本木地区

三本木地区では、「苛立ちや虐待傾向にある」という回答率が21.9%と、鳴子地区に次いで高い割合を示しているが、「子育てを放棄したい」と感じている保護者は1.8%と最も低い割合を示している。

④鹿島台地区

鹿島台地区では、全項目において、子育てをすることで何かしらの負担や疲労を感じている人の値が、7つの地区の中盤になる値を示している。また「子育てを放棄したい」「苛立ちや虐待傾向にある」と回答した人も高い割合ではないものの、7つの地区の中では肯定の回答率がやや高い。

⑤岩出山地区

岩出山地区では、「経済的負担」を感じている人が7つの地区の中で最も多い割合を示している。また「子育てを放棄したい」「苛立ちや虐待傾向にある」という割合が、7つの地区に比べて高い割合を示している。

⑥鳴子地区

鳴子地区では、子育てをすることで何かしらの負担や疲労を感じている人について問う6つの項目のうち、半数が50%以上の割合を示している。また、「苛立ちや虐待傾向にある」という回答は、「とてもそう思う」は0%であるものの、「少しそう思う」は33.3%で、肯定的な回答の割合は7つの地区の中で最も高い割合を示している。

⑦田尻地区

田尻地区では、鹿島台地区と同様に全項目において、子育てをすることで何かしらの負担や疲労を感じている人の値が、7つの地区の中盤になる値を示している

(13)現在の子育ての悩み

問5居住地域と問18子育てへの悩みのクロス表

		問18子育てへの悩み		合計	
		はい	いいえ		
問5居住地域	古川	度数	150	175	325
		問5居住地域の%	46.2%	53.8%	100.0%
	松山	度数	15	18	33
		問5居住地域の%	45.5%	54.5%	100.0%
	三本木	度数	24	32	56
		問5居住地域の%	42.9%	57.1%	100.0%
	鹿島台	度数	46	60	106
		問5居住地域の%	43.4%	56.6%	100.0%
	岩出山	度数	22	26	48
		問5居住地域の%	45.8%	54.2%	100.0%
	鳴子	度数	14	10	24
		問5居住地域の%	58.3%	41.7%	100.0%
	田尻	度数	48	42	90
		問5居住地域の%	53.3%	46.7%	100.0%
	その他	度数	2	0	2
		問5居住地域の%	100.0%	0.0%	100.0%
合計		度数	321	363	684
		問5居住地域の%	46.9%	53.1%	100.0%

問5居住地域と問19相談の有無のクロス表

		問19相談の有無		合計	
		はい	いいえ		
問5居住地域	古川	度数	129	22	151
		問5居住地域の%	85.4%	14.6%	100.0%
	松山	度数	11	4	15
		問5居住地域の%	73.3%	26.7%	100.0%
	三本木	度数	22	2	24
		問5居住地域の%	91.7%	8.3%	100.0%
	鹿島台	度数	41	6	47
		問5居住地域の%	87.2%	12.8%	100.0%
	岩出山	度数	19	3	22
		問5居住地域の%	86.4%	13.6%	100.0%
	鳴子	度数	8	5	13
		問5居住地域の%	61.5%	38.5%	100.0%
	田尻	度数	40	8	48
		問5居住地域の%	83.3%	16.7%	100.0%
	その他	度数	1	1	2
		問5居住地域の%	50.0%	50.0%	100.0%
合計		度数	271	51	322
		問5居住地域の%	84.2%	15.8%	100.0%

問5居住地域と問20相談先のクロス表

		問20相談先												
		配偶者	自分の親	配偶者の親	兄弟・姉妹	友人・知人	職場の人	保育所・幼稚園	市役所	児童相談所	保健所	その他	合計	
問5居住地域	古川	度数	61	19	1	6	16	7	9	1	1	1	2	124
		問5居住地域の%	49.2%	15.3%	0.8%	4.8%	12.9%	5.6%	7.3%	0.8%	0.8%	0.8%	1.6%	100.0%
	松山	度数	4	2	1	0	2	0	2	0	0	0	0	11
		問5居住地域の%	36.4%	18.2%	9.1%	0.0%	18.2%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	三本木	度数	10	5	1	0	2	0	2	0	0	0	2	22
		問5居住地域の%	45.5%	22.7%	4.5%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	100.0%
	鹿島台	度数	22	5	0	2	6	1	1	2	1	0	1	41
		問5居住地域の%	53.7%	12.2%	0.0%	4.9%	14.6%	2.4%	2.4%	4.9%	2.4%	0.0%	2.4%	100.0%
	岩出山	度数	6	5	1	0	3	0	4	0	0	0	0	19
		問5居住地域の%	31.6%	26.3%	5.3%	0.0%	15.8%	0.0%	21.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	鳴子	度数	4	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	8
		問5居住地域の%	50.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	田尻	度数	16	6	0	2	4	7	3	0	0	0	0	38
		問5居住地域の%	42.1%	15.8%	0.0%	5.3%	10.5%	18.4%	7.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他	度数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		問5居住地域の%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計		度数	123	44	4	10	34	15	21	4	3	1	5	264
		問5居住地域の%	46.6%	16.7%	1.5%	3.8%	12.9%	5.7%	8.0%	1.5%	1.1%	0.4%	1.9%	100.0%

現在の子育ての悩みに関しては、悩みを抱えている人と悩みを抱えていない人、全地区で大体半々で割れており、地区毎に大きな違いは見られない。また相談先として、親族や知人、友人を除くと、「保育所・幼稚園」が高い割合になっている。ただ、鹿島台地区・鳴子地区では、「保育所・幼稚園」が0%を示し、行政機関、「市役所・児童相談所・保健所」が相談先となっている。

(14)過去の子育てに関する悩み

問5居住地域と問21（過去）子育ての悩みのクロス表

		問21（過去）子育ての悩み		合計	
		はい	いいえ		
問5居住地域	古川	度数	204	119	323
		問5居住地域の%	63.2%	36.8%	100.0%
	松山	度数	22	11	33
		問5居住地域の%	66.7%	33.3%	100.0%
	三本木	度数	36	20	56
		問5居住地域の%	64.3%	35.7%	100.0%
	鹿島台	度数	65	39	104
		問5居住地域の%	62.5%	37.5%	100.0%
	岩出山	度数	32	17	49
		問5居住地域の%	65.3%	34.7%	100.0%
	鳴子	度数	17	8	25
		問5居住地域の%	68.0%	32.0%	100.0%
	田尻	度数	65	24	89
		問5居住地域の%	73.0%	27.0%	100.0%
	その他	度数	1	0	1
		問5居住地域の%	100.0%	0.0%	100.0%
合計		度数	442	238	680
		問5居住地域の%	65.0%	35.0%	100.0%

問5居住地域と問22相談の有無のクロス表

		問22相談の有無		合計	
		はい	いいえ		
問5居住地域	古川	度数	189	17	206
		問5居住地域の%	91.7%	8.3%	100.0%
	松山	度数	19	3	22
		問5居住地域の%	86.4%	13.6%	100.0%
	三本木	度数	34	2	36
		問5居住地域の%	94.4%	5.6%	100.0%
	鹿島台	度数	61	4	65
		問5居住地域の%	93.8%	6.2%	100.0%
	岩出山	度数	31	1	32
		問5居住地域の%	96.9%	3.1%	100.0%
	鳴子	度数	12	5	17
		問5居住地域の%	70.6%	29.4%	100.0%
	田尻	度数	60	5	65
		問5居住地域の%	92.3%	7.7%	100.0%
	その他	度数	1	1	2
		問5居住地域の%	50.0%	50.0%	100.0%
合計		度数	407	38	445
		問5居住地域の%	91.5%	8.5%	100.0%

問5居住地域と問23相談先のクロス表

		問23相談先												
		配偶者	自分の親	配偶者の親	兄弟・姉妹	友人・知人	職場の人	保育所・幼稚園	市役所	児童相談所	保健所	その他	合計	
問5居住地域	古川	度数	88	38	2	9	17	10	8	2	2	1	5	182
		問5居住地域の%	48.4%	20.9%	1.1%	4.9%	9.3%	5.5%	4.4%	1.1%	1.1%	0.5%	2.7%	100.0%
	松山	度数	4	4	1	2	4	0	1	1	0	0	1	18
		問5居住地域の%	22.2%	22.2%	5.6%	11.1%	22.2%	0.0%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	100.0%
	三本木	度数	11	10	2	0	6	1	2	1	1	0	0	34
		問5居住地域の%	32.4%	29.4%	5.9%	0.0%	17.6%	2.9%	5.9%	2.9%	2.9%	0.0%	0.0%	100.0%
	鹿島台	度数	24	16	1	5	10	0	1	1	1	0	1	60
		問5居住地域の%	40.0%	26.7%	1.7%	8.3%	16.7%	0.0%	1.7%	1.7%	1.7%	0.0%	1.7%	100.0%
	岩出山	度数	10	8	1	1	7	0	2	0	2	0	0	31
		問5居住地域の%	32.3%	25.8%	3.2%	3.2%	22.6%	0.0%	6.5%	0.0%	6.5%	0.0%	0.0%	100.0%
	鳴子	度数	7	2	0	0	2	0	0	1	0	0	0	12
		問5居住地域の%	58.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	田尻	度数	26	9	2	3	8	3	2	1	1	2	1	58
		問5居住地域の%	44.8%	15.5%	3.4%	5.2%	13.8%	5.2%	3.4%	1.7%	1.7%	3.4%	1.7%	100.0%
	その他	度数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		問5居住地域の%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計		度数	170	87	9	20	55	14	16	7	7	3	8	396
		問5居住地域の%	42.9%	22.0%	2.3%	5.1%	13.9%	3.5%	4.0%	1.8%	1.8%	0.8%	2.0%	100.0%

過去の子育てに関する悩みについて、現在の子育てに関する悩みと同様で、全地区において半数以上の割合で、悩みを抱えていたと回答している。また相談先としては、「保育所・幼稚園」が高いものの、全体的に「市役所や児童相談所、保健所」への相談も見られる。

(15)子育て支援の展望

全地区において、「子どもの遊び場の整理ができるといい」という回答率が高い割合を示している。ついで、「子連れで外出しやすい環境になるといい」「地域内での子育て支援事業の参加の機会が増えるといい」という回答が高い割合になっている。

(16)自由記述

古川	
自由記述の内容	件数
経済	16件
遊び場	52件
開催時間	8件
支援情報	5件
その他	18件

松山	
自由記述の内容	件数
支援情報	2件
遊び場	2件
その他	5件
三本木	
岩出山	
自由記述の内容	件数
遊び場	2件

鳴子	
自由記述の内容	件数
遊び場	5件
その他	2件

自由記述の内容	件数
遊び場	4件
資源の不足	1件
その他	1件

鹿島台	
自由記述の内容	件数
資源の不足	7件
遊び場	16件
開催時間	8件
経済的悩み	5件

田尻	
自由記述の内容	件数
遊び場	10件
経済	3件
支援情報	4件
開催時間	5件
資源の不足	4件
その他	5件

①全体を通して

全体を通して、「遊び場」についての記述があった。内容としては、「雨の日にも子どもが体を動かして遊ぶことのできる場所が欲しい」、「そもそも遊具が子どもが遊べる状態に管理されていない」といった回答が多く目立った。それぞれの地域に公園があっても、安全性が管理されていないと感じる保護者が多いようで、安心して子どもを遊ばせることができないとかいおうする人が多かった。そのため、近隣の市町村にわざわざ行き、そこで子どもを遊ばせているという回答も多く見られた。

②古川とその他地区の比較

大崎市において、中でも市街地である古川に資源が集中しているため、古川以外の地区では資源の不足を訴える声が多く上がっていた。

他地区において、「古川に資源が集中している」等と回答する人もおり、資源の不足を痛感していると考えられる回答も目立った。また資源が不足しているために、保護者が悩みを抱いているにもかかわらず、その保護者本人が悩みを持っていると気づいていないと考えられる回答も多く見られた。おそらくその保護者の近くに、悩み事に対応できるような資源（例えば「病後時保育」「一時預かり」等）があれば解消されるにもかかわらず、需要と供給があっていないために解決されず、その状態にストレスを感じている保護者もいるということもわかった。

古川地区では資源が多いこともあり、その支援の一つ一つの「質」に疑問を抱いているという回答も見られた。資源が多くあり、子育て家庭も多いために、他地区に比べて支援そのものの質を比較することができるのだと考えられた。そのために、「保育士の質」「保健師の質」に疑問を抱いているという回答もいくつか見られた。この回答は古川に特に目立って見られた。